

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2001-41230 (P2001-41230A)
【公開日】平成 13 年 2 月 13 日 (2001.2.13)
【出願番号】特願 平 11-215197
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 19/10

F 1 6 C 33/36

F 1 6 C 33/58

【F I】

F 1 6 C 19/10

F 1 6 C 33/36

F 1 6 C 33/58

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 8 日 (2005.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

この構成においては、環状軌道輪 3 の軌道面 5 が水平な平面であるため、他方の環状軌道輪 2、円錐ころ 6、浮動軌道輪 1 0 および保持器 1 4 は軌道面 5 の上を半径方向に自由に動くことができ、この軸受 1 では半径方向の荷重を全く支持しない。半径方向の位置および荷重の支持は別に設けた半径方向軸受に依存する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 6】

図 1 0 には第 5 の実施形態を示してあり、図 1 0 (A) は軸受 1 の一部の断面図、図 1 0 (B) は図 1 0 (A) 中の X X 線に沿う断面図である。この実施形態においては、保持器 1 4 の外周部 1 4 a および内周部 1 4 b に、環状軌道輪 2 の軌道面 4 に対向して保持器 1 4 の軸方向の移動を規制する規制部 2 0 が設けられている。

【手続補正 3】

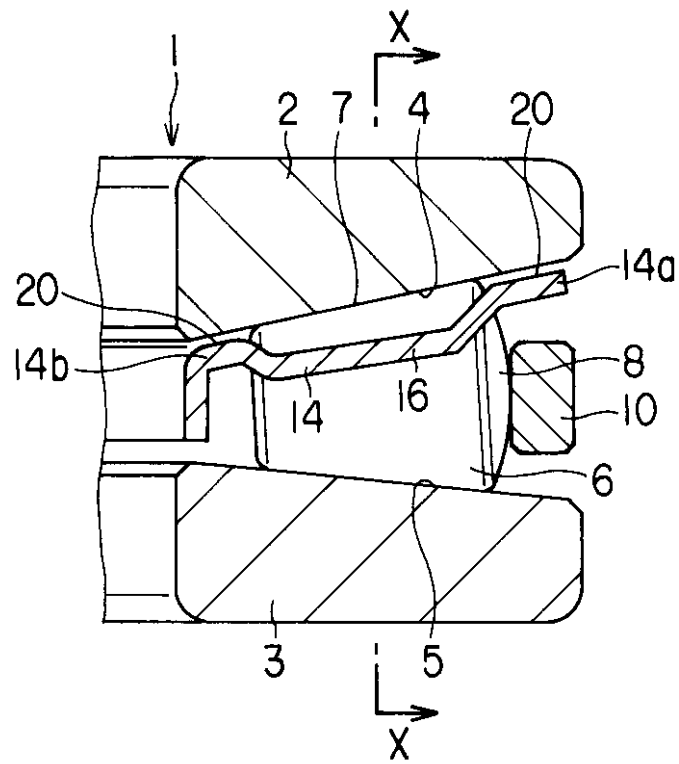
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

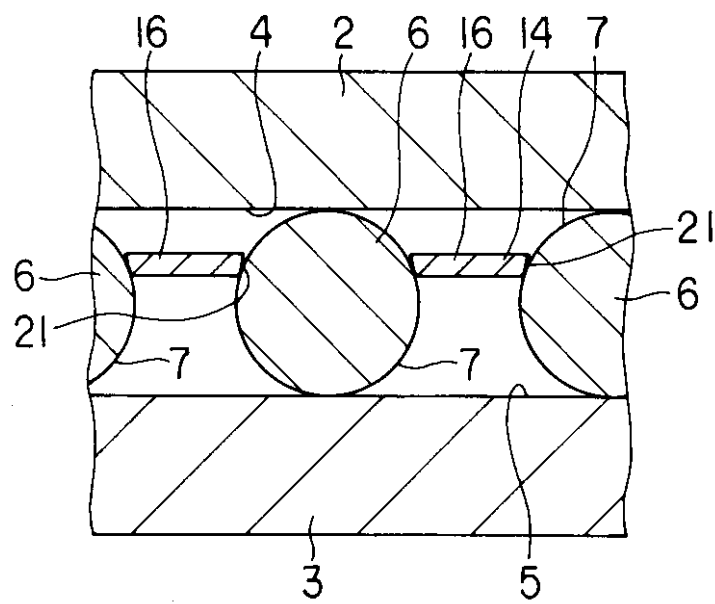
【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10】



(A)



(B)

【手続補正 4】

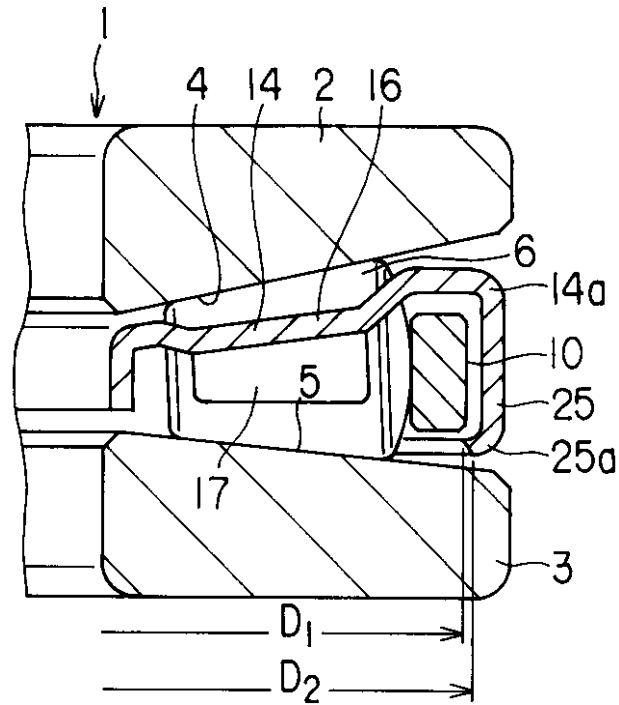
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 2】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 13】

